

## 旧吉野川及び今切川で堤防の 地震・津波対策の工事を開始します

- ◆徳島河川国道事務所では、昨年の東日本大震災を教訓に、東南海・南海地震など今後数十年から百数十年に一度程度の発生が予測される地震・津波に備えるため、様々な調査・検討及び対策工事の設計等に取り組んできました。
- ◆その状況を踏まえ、今般、地震・津波対策として河川堤防の補強等が必要な箇所について、対策工事を開始することとしました。(別図 1 参照)
- ◆地震による基礎地盤の液状化で河川堤防が沈下し、その後に来襲する津波が宅地側へ流入するおそれのある箇所について、堤防の沈下を抑制するため、鋼矢板や砂杭を打設する工法を用いた対策工事を予定しています。(別図 2 参照)
- ◆平成 24 年度は、以下の箇所から対策工事を行う予定です。ただし、工事施工場所や工事件数は変更になることがあります。(別図 3、4 参照)
  - 今切川:16 件  
いまぎれがわ  
まつげちょうささぎ の ひろしま きたじまちょうなかむら とくしましかわうちょうか がすの  
松茂町笹木野及び広島、北島町中村、徳島市川内町加賀須野
  - 旧吉野川:3 件  
きゅうよしのがわ  
なるとしおおつちょうやぐら とくなが  
鳴門市大津町矢倉及び徳長
- ◆工事に支障となる物件(栈橋等)については、所有者において撤去していただきますが、指定の期日までに撤去されない場合は、所定の手続きにより撤去することになります。
- ◆対策が必要な残りの箇所についても、設計等を引き続き実施し、対策工事を進める予定としておりますので、関係各位のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに関連します。

平成 24 年 8 月 24 日

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

### 【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

副所長(河川) 武本 謹二(たけもと きんじ) TEL 088-654-2211(代表)

副所長(地域) 赤澤 善樹(あかざわ よしき) TEL 088-654-2211(代表)

◎工務第一課長 山本 卓男(やまもと たくお) TEL 088-654-9161(直通)

河川調査課長 生田 浩一(いくた こういち) TEL 088-654-9611(直通)

◎:主たる問い合わせ先

# 【別図1】河川堤防の地震・津波対策の必要区間 概要図

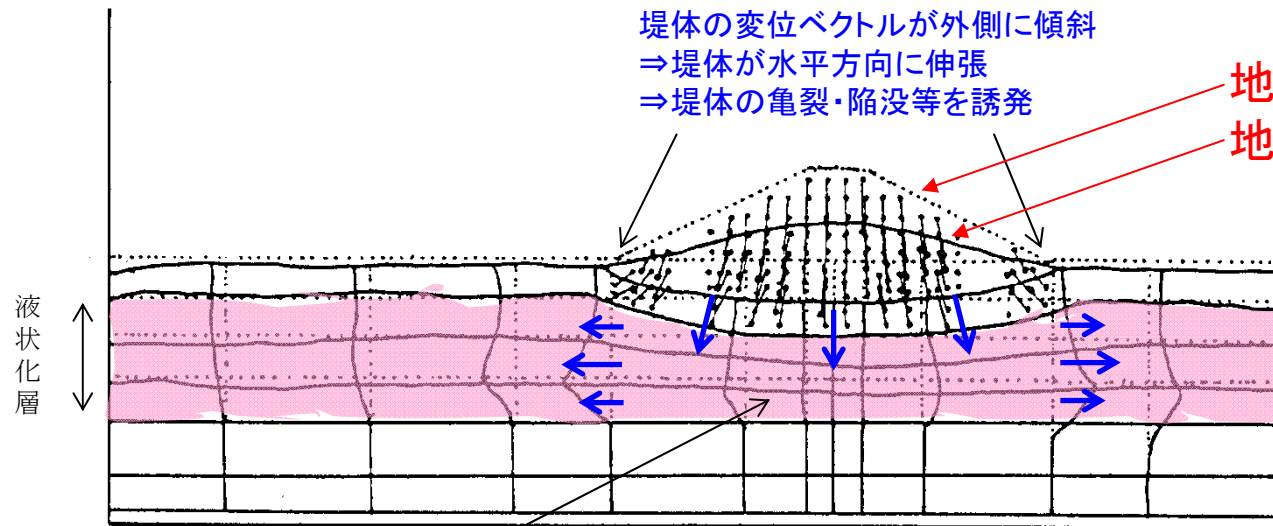
— : 国土交通省管理の施設計画がある区間(吉野川、旧吉野川、今切川)  
— : 上記のうち、地震・津波対策が必要な区間



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平23情複、第684号)を一部転載したものである。

# 【別図2】 耐震対策工法のイメージ

## 液状化により堤防が沈下するメカニズム



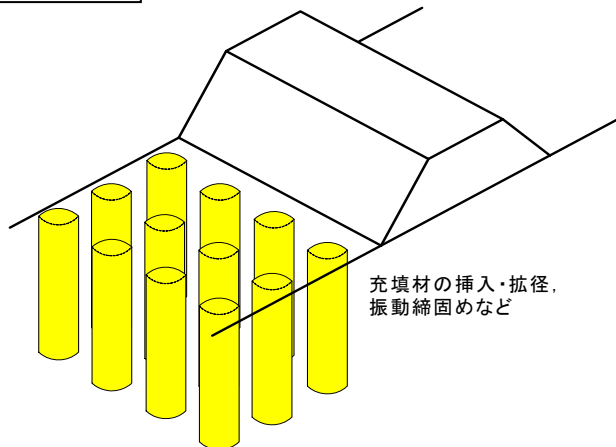
地震前の堤防  
 地震後の堤防



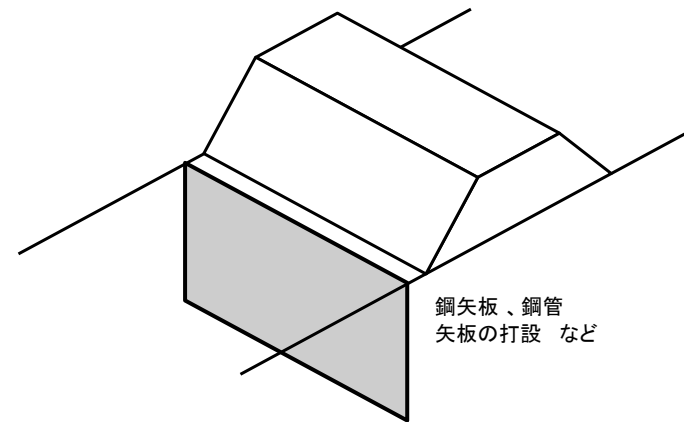
河川堤防の液状化の事例(鳴瀬川)  
 東北地方太平洋沖地震(2011.3)

液状化層の剛性・強度が低下  
 ⇒堤防の自重により液状化層がつぶれ、堤防が沈下  
 ⇒液状化した土は体積圧縮が生じにくいいため、大きく側方に伸張変形

## 対策工法のイメージ

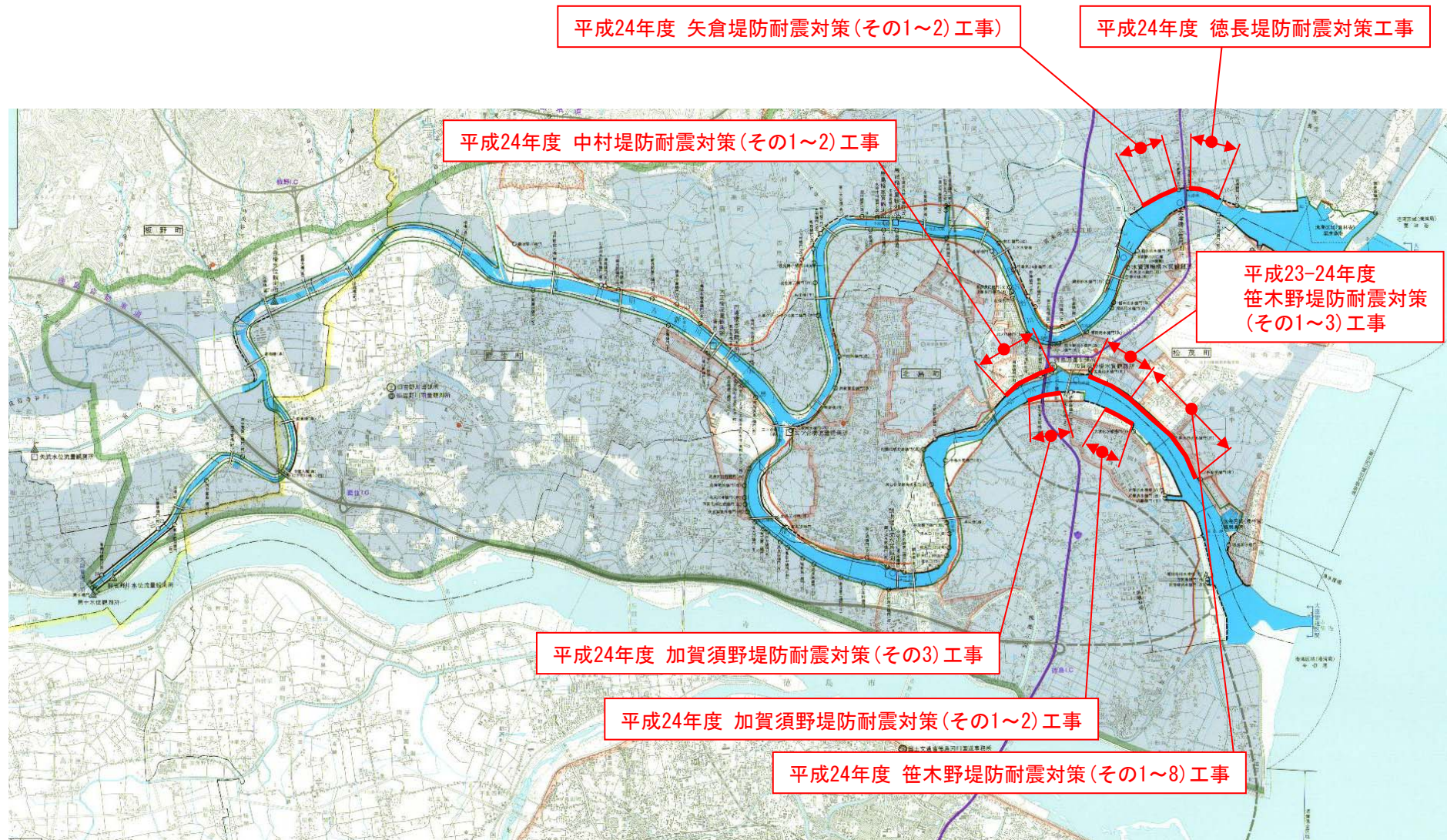


堤体のり尻の液状化発生の抑制



堤体のり尻の側方変位の抑制

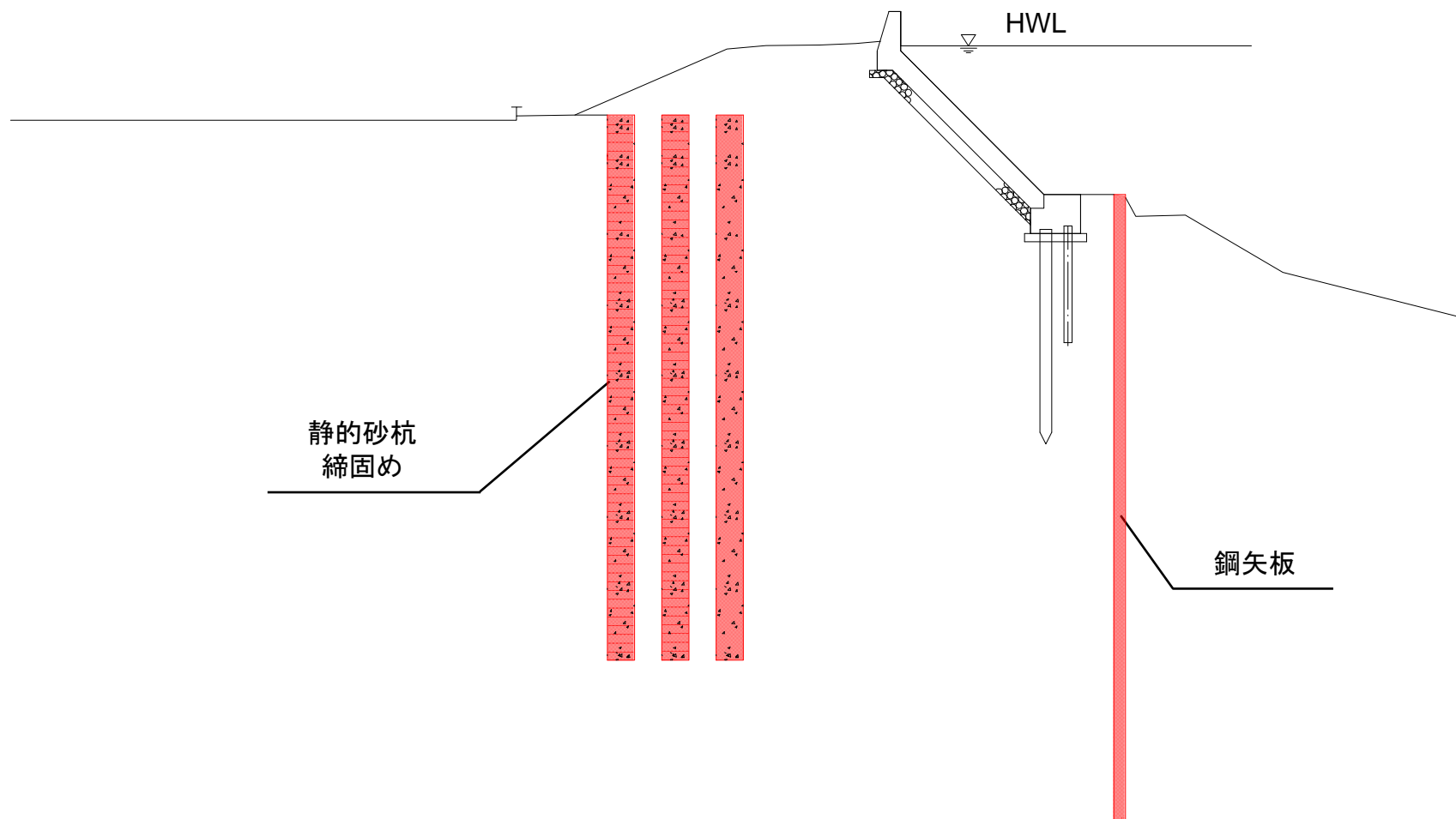
# 【別図3】平成24年度耐震工事箇所位置図



※ 工事施工場所や工事件数は変更になることがあります。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したもの(承認番号 平17四複、第61号)を一部転載したものである。

## 【別図4】 耐震対策工事の例（今切川笹木野箇所）



※ 対策工法は、工事箇所によって最適な工法を選定します。